

## 第2回 運転保守指針検討会 議事録

1. 開催日時： 2023年6月23日（金）13：00～14：10
2. 開催場所： 一般社団法人 日本電気協会 4階 A, B会議室
3. 出席者： （順不同，敬称略）  
出席委員： 牧原主査(東京電力 HD)， 米澤副主査(日本原子力発電)，  
大野(日立 GE ニュークリア・エナジー)， 鈴木(中部電力)， 関 (九州電力)，  
中川(四国電力)， 藤井(北陸電力)， 峯村(東芝エネルギーシステムズ)， 宮道(中国電力)，  
宮原(東北電力) (計10名)  
代理出席： 椎塚(三菱重工業， 和地委員代理) (計1名)  
欠席委員： 西野(関西電力)， 渡辺(北海道電力) (計2名)  
オブザーバ： 梅津 (東北電力) (計1名)  
事務局： 葛西， 末光， 田邊(日本電気協会) (計3名)

### 4. 配布資料

- |                |   |
|----------------|---|
| 資料 No.2(1)-1   | 原子力規格委員会 運転・保守分科会 運転保守指針検討会 委員名簿              |
| 資料 No.2(1)-2   | 原子力規格委員会 運転・保守分科会 運転保守指針検討会 委員名簿<br>(日程調整)    |
| 資料 No.2(2)     | 第1回 運転保守指針検討会 議事録 (案)                         |
| 資料 No.2(3)-1   | 「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」の扱いについて       |
| 資料 No.2(3)-2   | 「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」検討会スケジュール (案) |
| 資料 No.2(3)-参考1 | JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針の扱いについて (引継ぎ)   |
| 資料 No.2(3)-参考2 | 2022 年度活動実績及び2023 年度活動計画 (案)                  |
| 資料 No.2(3)-参考3 | 2023 年度各分野の規格策定活動 (案)                         |

### 5. 議事

事務局より，本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことの周知徹底が行われた後，議事が進められた。

#### (1) 代理出席者，委員定足数，常時参加者，説明者，オブザーバ，配付資料の確認

事務局より，代理委員1名の紹介があり，分科会規約第13条（検討会）第7項に基づき，主査の承認を得た。出席委員数は現時点で代理出席者を含めて11名で，分科会規約第13条（検討会）第15項の決議に必要な委員総数の3分の2以上の出席を満たしていることが確認された。また，事務局より，オブザーバ1名の紹介があり，分科会規約第13条（検討会）第11項に基づき主査の承認を得た。その後配布資料の確認があった。

#### (2) 前回議事録の確認

事務局より、資料No.2(2)に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて決議の結果、特にコメントはなく承認された。

### (3) JEAG4803方針検討タスク報告書の確認

主査より、資料 No.2(3)-2 に基づき検討会スケジュールの説明、及び各委員による資料 No.2(3)-1, JEAG4803 方針検討タスク報告書の読み合わせが行われた。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 弁と ECCS であるパート C とパート E しかニーズ調査を実施していないが、そういう理解で良いか。  
→ 事務局だが、その通りである。
- ・ 他の調査していないパートは、これから調査を実施しないといけないのか。  
→ 事務局だが、それはこの検討会で決めていくことと考える。運転・保守分科会のタスクは、論点を議論する場。もちろん網羅的に確認した方が良いが、タスクでは先ずは代表的な所ということで調査を実施し、論点を整理した。
- ・ 資料 No.2(3)-1 の 4 頁の一番下の「○本指針の目的（「はじめに」にあるキーワード）」に書いてある 4 項目が元々のニーズであり、1999 年版が制定された背景と、規格の骨子だと思う。これらと必要性を考慮し、廃止に向けてまとめ方のイメージを作りながら進めたらどうかと思う。
- ・ 今の件は、現状指針がなくても良いというストーリー作りが必要ということで良いか。  
→ おそらく、全く実施していないのではなく、どこかで代替手段を講じていると思うので、それは規格・基準とか、あるいは社内の規定、法令要求でおおむねできているので、20 年前のものをリニューアルする必要は無いということだと考える。
- ・ 前段で実施していたタスクの中には、パート C とパート E で書いてあることに対して、事業者はこれを何に基づいてやっているかという整理を細かく実施したと思う。パート C とパート E を例として今どうしているのかをまとめていると思う。パート A、B、D については、電力事業者にアンケートを実施しても、既に実施しているという回答しか来ないと思うので、無駄な労力は費やしたくないと思う。
- ・ パート C とパート E の調査を実施したのは全般に係るのでということの説明ロジックであるが、それで納得してもらえるかどうかということであると思う。
- ・ 資料 No.2(3)-1 の 14 頁の 2 つ目の矢印の所で、ASME OM について注力して確認を行っていく必要はないというのは、この検討会の立ち位置ということで良いか。その次の所で、運転・保守分科会では「ASME OM との適合性をどの様に確認維持するかということであるが、これについては次回分科会以降検討していきたいと考える。」とされたとあるが、先程目次ベースの比較をした時に、運転保守指針検討会でも検討を進めていくようになっているがそこはどうか。  
→ 事務局だが、補足すると運転・保守分科会は ASME OM の改定状況を確認していき、運転保守指針検討会は JEAG4803-1999 を廃版にするための検討を進めるということであり、必要であれば ASME OM の確認もするかもしれないが、最新版を継続して確認するのは検討会のミッションではない。
- ・ 運転・保守分科会で方向性が不明確になるので、分科会の中で検討会の立ち位置を説明していかな

いと、検討会にかかる負荷も違ってくると思う。

- ・ 運転・保守分科会の中の役割分担で誰が ASME OM の最新版を確認して行くかについては決まっていない。運転・保守分科会で決めるのだと思うが、そんなに話が進んでいないという認識で良いか。JEAG4803-1999 の廃版に向けて ASME OM をどこまで見るかは本検討会で決めていかなければいけない。
- 事務局だが、その通りである。
- ・ 分科会で持っている規格を改定する時に、最新知見として、国内と国外の知見を確認して改定するというルールになっているので、その中に ASME OM-2020 が必要であるということであれば、それが入ってくる話なので、分科会で分担を決めるというのは違うと思った。それをインプット情報として使ってきたのが何かというと、JEAG4803 であって、この規格を作った目的から考えて、必要性が無くなったので今の状態があるとすると、必要でない理由を先程の規格を作った目的と、現状とを整理していけば良く、あまり分科会でどうのこうのという話ではないと思う。
- JEAG4803-1999 は現状使用されなくても問題ないし、なので廃止できるということの理屈作りをしていき、正にこの検討会の方針は何かということで意見も有ったので、運転・保守分科会に、本検討会の検討方針はこれであるということ報告することになると思う。

#### (4) その他

次回運転保守指針検討会開催日時は、別途検討し、事務局より各委員に送付する。

以 上